

ていかなければならないと考えています。なお、統廃合を含めた学校施設の整備については、現在副市長を委員長に、加西市学校再編・幼保民営化対策検討委員会が設置され、全庁的な体制で検討、審議が行われていますので、今後この結果をもとに、民意を拝聴しながら熟度を高めていきたいと思っています。

幼稚園、保育所の一元化、民営化については、解決への一つの糸口として、加西市未来の学校づくり検討委員会より答申があった「教育変革期への加西市教育委員会の対応について」や、加西市学校再編・幼保民営化検討委員会の検討成果を踏まえて慎重に対処したいと思っています。

道路補修工事



繁田 基 議員
(公明党)

問 道路補修について、補修

依頼箇所は、年度ごとに徐々に増えているように思われ

る。地元の協力を得ながら材料支給で地元にお願ひする等、いろんな方法があると思う。少しでも補修箇所が消化できるように努力をしていただきたい。

答

道路修繕工事について、地元よりいただいている要望箇所はたくさんありますが、本当に生活に密着した要望であり、その必要性は十分に認識しています。今後は、工法の検討、地元の協力が得られるのであれば協力いただき、年間に実施できる件数を1件でも増やし、地元からの要望に1日でも早く対応できるように努力していく考えです。



健康福祉事務所と健康増進センター



別府 直 議員
(新国会)

問

健康福祉事務所は、教育研修所、青少年センター、指導力向上センター等の統合施設として利用してはどうか、またその買い取りと統合後の土地の売り払い等の提案をした。その後の話はどのように進んでいるのか。

答

健康福祉事務所の跡地利用は、その後協議を重ね、使用については老朽化した教育研修所と青少年センターを統合し、あらたに加西教育センターとして設置することを考えています。また、跡地の購入金額や支払方法については、今後県と協議を重ねてまいります。活用方法についても教育委員会で新たな施策の活用策等、また法令等の整備も検討しているところですが、ハードの整備だけではな

く、ソフトなサービスが充実してできるといふ、ハード、ソフト両面の慎重な検討をした上で、県からの購入を図っていききたいと思っています。

国際都市加西市の将来性について



西川正一 議員
(正睦会)

問

国際都市について、いろいろな構想を練られていると思うが、いまはどのような状態で、ホテル等の誘致についてはうまくいっているのか。

答

三洋電機の新工場に伴う国際都市加西市の将来について、市長と三洋電機社長のトップ会談で、鎮岩の新工場は海外でも需要が急増している環境対応の自動車用リチウムイオン電池の世界的な生産拠点として、三洋電機が持つ技術の粋のすべてを加西市に投入するとも言われています。そして、技術者や従業員が快適に暮らせるま

ちづくりと海外からビジネス客も安心して滞在できるホテル等の都市整備の要望を聞いています。また、三洋電機から相当数の雇用計画を聞いており、新工場の竣工に合わせて従業員として加西市への転入の増加が見込まれること、世界の自動車メーカーの関係者、スマートエナジー導入の事業者が多く加西市を訪れることが想定されています。今後、転入者はもちろん、世界からの来訪客に対して安心して滞在できるホテルの誘致について、トップセールスとして市長みずから積極的に取り組んでいきます。あわせて教育、医療、文化、娯楽を初めとした多様なサービスの充実を図る必要があります。ワークライフバランスのとれた都市を目指して今後取り組む予定にしています。加西市は全国を相手にするだけではなく、世界を相手にできるぐらいの自治体としての力量を備えていく必要があると考えています。